

令和2年度
第3回 明治記念大磯邸園有識者委員会
議事要旨

【日時】 令和3(2021)年3月29日(月) 9:00~11:00

【場所】 ビデオ会議

【出席委員】

委員：小野委員長、栗野委員、坂井委員、水沼委員

行政委員：栗原委員、野村委員、岡野委員、関矢委員

オブザーバー：奈良岡教授

【会議の概要】

1. 報告事項

- (1) 旧滄浪閣エリア(庭園)の設計について
- (2) 西園寺別邸跡エリア(庭園)の設計について
- (3) 第1、2回邸宅保存活用計画検討委員会での審議内容

※報告事項につき、概ね意見等なし。

2. 議事

- (1) 明治記念大磯邸園の管理運営について
(旧大隈別邸・陸奥別邸跡エリアの全面開園に向けた課題)

委員) 邸宅内の観覧動線に関して、来園者の視点からすると、バリアフリー対応が必要な方も建物の入口である玄関から入館できることが自然であり、望ましいと考える。建物の歴史的・文化的価値を損なわない範囲で改修するとともに、管理スタッフによる介助等のソフトの取り組みを組み合わせるかたちで良いと思う。また、放火等から邸宅を守るため、警備等については十分な検討をお願いしたい。

事務局) ご指摘を踏まえ、引き続き検討する。

委員) バリアフリーの検討に関して、他の邸宅の事例等を踏まえて検討しているのか。経緯を説明してほしい。

事務局) 文化庁が出している歴史的建造物のバリアフリー対応の事例集等を確認し、検討したところである。具体の整備内容はケースバイケースであったため、最終的には本邸園としてどうするかを検討した際、多様な利用者に配慮しつつも建物の歴史的・文化

的価値を守りながら活用するため、大きく改修を要しない範囲でバリアフリー対応を行っていくと考えに至ったところ。

(民間事業者との対話 実施結果報告)

委員) 西園寺別邸跡・旧池田邸について、建築設計図面等が新たな資料として確認された。これにより旧池田邸について、創建当初がよく残っており、文化財的に極めて高い価値を有していることがさらに明確になった。この点に留意して今後の活用についても検討してほしい。

(2) 明治記念大磯邸園の展示の基本方針について

委員) 明治維新に関係する既存の美術館・博物館、展示施設を整理し、本邸園の展示の位置づけを示した資料があればより議論がしやすい。展示内容については、大磯がなぜ政界の奥座敷になったのか、大磯での政治家の生活やその家族のことなど東京の政治の中心からは見えないところを伝えられると良い。

委員) 邸宅が、明治から現代まで歴史の流れの中で継承されてきた経緯についても伝えられると良い。大磯町の郷土資料館や図書館とも連携することも検討してほしい。

委員) 湘南の邸園文化や神奈川の近代庭園全体での大磯の位置づけなどについても紹介できると良い。大隈重信の園芸趣味など、明治の先人たちのオフタイムの側面等、当時の暮らしぶりを伝える観点での展示コンテンツも考えられる。

委員) 神奈川県は邸園文化圏構想の活動(毎年秋の邸園文化祭等)や本邸園近隣の吉田茂邸などと連携できれば良い。また、今まで非公開だった場所が公園として地域住民に開かれることになるため、大磯町民が邸園文化に対する愛着を醸成したり、歴史文化に根差した地域づくりの場所となったりするとよい。

委員) 大磯町には学芸員が数名いるため、本邸園の展示等と連携できればと思う。また、結核療養や海水浴場といった大磯の歴史も展示に活かしてほしい。

委員) 展示における本邸園の強みは、ゆとりのある別荘地であったという特徴を有している点だと思う。松林などでゆとりを感じてもらいながら、その中で国の重要なことが決められていたということが伝わればよい。

事務局) ご指摘を踏まえて検討したい。

以上